
ケンカ週間

朝衣海美

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ケンカ週間

【Nコード】

N5353I

【作者名】

朝衣海美

【あらすじ】

素直になれない女の子が彼氏と喧嘩して仲直りするまでのお話。

なんでいつもメールくれないの？

お前はいつもメールしかしてこないよな

メールしちやいけないの？

そうじゃないけどさ・・・

私のこと好きじゃないの？

お前は俺の気持ちをメールではかるのかよ？

3日前、ケンカした。メールで。

トモコに相談したら、くだらないって言われた。すぐ仲直りする
でしょっていわれた。いつもなら、その日のうちに仲直りする。だ
けど、今回は違う。私もサトルもメールも電話も、会おうとさえし
ないでいる。

めちやくちや寂しい。

本音はそうだけど、でも、だって、いつも私がメールして、それ
で始まる。たまには、待つてみたい。そんな意地があつて、ついつ
いメールも電話もできないでいる。

「はやく連絡してよお・・・」

授業中でもバイト中でも、お風呂に入っけていても携帯電話が気に
なる。

メールはいつも私から。電話は付き合つてからはめつたにしない。
デートに遅れるときとか、いきなり会えるようになったときとか、
そういうときしか電話しない。私がメールしなければ、1日2日連
絡がないのは当たり前。会おうつて言うのも私。

そういうの、なんか違う気がして・・・。サトルは私に会いたく
ないのかなつて思うようになってからは、会つていても、切ない。

ケンカして、そのままの今の状態、サトルは辛いのかな・・・
。寂しくないのかな・・・。私はこんなに寂しいのに、どうしてサ

トルは平気なのかな・・・。

男って、そんなもんだよ。トモコは頼りになる友達。サトルと何かあると必ず相談する友達。私から見るとトモコは、彼氏とは割りとおっさりしていて、でも、お互いに信頼しあっていて、うらやましくも思う。大人な関係。

私はといえば、子供じみた独占欲、嫉妬心、それから、わがまま、欲張り、気まぐれ・・・。サトルはこんな私のどこが好きなんだろう・・・自分でさえそう思う。

このままバイバイなのかな・・・って考えるといてもたつてもいられないけど、今回だけは意地っ張りな私。どうしても、連絡したくない。私からは、したくない。

「バカ・・・」

4日目、携帯をにらみつけて、思い切つて家に置いたまま、学校に行った。だって、もっていたら、すぐにもメールしてしまいう・・・。

くだらない意地。

もうだめなのかな・・・。こんなことで終わっちゃうのかな・・・。その程度の付き合いなのかな・・・。サトルはもう私なんか好きじゃなくなっちゃったのかな・・・。

授業なんか聞いてられない。バイトはサボった。だって、携帯電話が気になってなんにも手につかない。

家に帰ってすぐに携帯を見る。

Eメール 5件

全部見て、がっかりする。サトルからのメールはなかった。

6日目、明日で一週間。連絡を取らないまま、土日に突入。こんなに寂しい気分の週末は、初めてだ。

昨日の夜、今までのサトルからのラブメールを見て、泣いた。

起きたら、お昼だった。

携帯電話は、鳴らない。

また泣いた。

ピンポン

チャイムがなって、ママが玄関に出る。下でママが、聞き覚えのある声と話している。

「アイコー！サトルくんがきたわよー！」

ママの声にびくつとして跳ね起きる。泣きっぱなしの顔。くしゃくしゃの髪。こんなかつこ見られたくないけど、それよりもなによりも、会いたかった。

サトルが上にながってくる。

パジャマ姿、泣き顔、くしゃくしゃの髪、携帯電話を握り締めて、ベッドの上で呆然とドアを見つめる私を見て、サトルは笑った。

「バアカ」

いつもの憎まれ口。何回聞いたっけ・・・？

ケンカするたびにそうやって全部許して、頭を撫でて、抱きしめてくれる。

今日も同じ。近づいてきて、こんな姿の私を抱きしめる。

「ごめんな、俺が悪かった」

言いながら、抱きしめてくれる。温かい。思わず、また涙が溢れる。

「な、泣くなよー」

困ったようにサトルは言いながら、頭を撫でる。

声にならない声で、何回もゴメンネって言う私。

いつも、ありがとう。

こんな私だけど、これからもずっと、一緒に居てね。

キライにならないでね。

こうやって、長いケンカ週間は終わった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5353i/>

ケンカ週間

2011年1月18日03時16分発行